

## 平成 28 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

## 1. 調査研究テーマ

## (ア) 「幼児教育アドバイザー」育成・配置に関する調査研究

多様な人々と協働し、主体的に活動する子どもを育てる幼児教育の充実  
前橋市のめざす「多様な人々と協働し、主体的・創造的に活動する子ども」を育てることに向け、前橋市の幼児教育の一層の充実を図るために、幼児教育センターにおける幼児教育アドバイザー派遣事業の在り方を探る。

## (ウ) 幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

## 2. 平成 28 年度に実施した主な調査研究内容

## (1) アドバイザー訪問施設数（平成 29 年 3 月 31 日時点）：

幼稚園			うち、幼稚園型 認定こども園			幼保連携型 認定こども園			保育所		うち、保育所型 認定こども園		地方裁量型 認定こども園		小学校
10/29			4/12			7/20			23/48		0/0		0/0		10/49
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	校
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	
0/1	4/4	6/24	0/0	0/0	4/12	0/0	0/0	7/20	18/18	5/30	0/0	0/0	0/0	0/0	
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	

※アドバイザー配置人数：14人

※アドバイザーの最終経歴：

- ① 子育て支援サークル主催者
- ② 障害児療育施設長 レクリエーションコーディネーター
- ③ 公立幼稚園長経験者 小学校長経験者
- ④ 大学院講師
- ⑤ 大学講師 臨床発達心理士 保健師経験者
- ⑥ 臨床発達心理士 発達相談員
- ⑦ 言語聴覚士 臨床発達心理士
- ⑧ 小学校教諭（通級指導教室）経験者
- ⑨ 公立保育所長経験者
- ⑩ 公立幼稚園長経験者
- ⑪ 保育士経験者・大学講師
- ⑫ 小学校長経験者
- ⑬ 大学教授 公立幼稚園長経験者
- ⑭ 大学講師 小学校長経験者 幼稚園副園長経験者

## (2) センターの設置：

- ・ 設置年度：設置済み（平成 15 年度 4 月）
- ・ 設置形態：センターなど、組織として設置

## (3) その他幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

- ・ 幼児教育充実指針『めぶく～幼児の育ち～ 子どもも大人も育ち合うために』作成  
（平成 29 年 2 月 前橋市・前橋市教育委員会）

## 3. 成果

## (1) アウトプット

- ・ 幼児教育アドバイザー派遣事業に取り組むにあたり、前年度までの「保育カウンセラー（5名）」「幼小連携アドバイザー（4名）」を「幼児教育アドバイザー」に統一するとともに、人数を 14 名に増員した。
- ・ 幼児教育センター事業充実会議（調査研究実行委員会）の設置にあたり、前橋市教育委員会事務局である総合教育プラザ幼児教育センターが中心となりながらも、私立幼稚園、

## No. 5 前橋市 総合教育プラザ

保育園，認定こども園，公立保育所の各代表及び保育所管轄担当課長に委員として参加いただいた。

- ・ 4月20日，幼児教育アドバイザーの顔合わせも兼ねた第1回研修会を，公立幼稚園を会場として，保育参観（12:30～13:30）と協議（13:30～15:00）の内容で実施した。
- ・ まえばし幼児教育充実指針『めぶく～幼児の育ち～ 子どもも大人も育ち合うために』を作成し，平成29年2月28日に群馬ロイヤルホテルを会場に，市内校園所の教職員を対象としたフォーラムを開催した。
- ・ 本冊子を前橋市内の幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校・特別支援学校及び公民館等に配布した。あわせて平成29年度の市内園所に通う年長・年中児全てに配布した。

### (2) アウトカム

- ・ 幼児教育アドバイザー派遣依頼件数（出前研修・出前相談）が，前年比+30回の89回に増えた。
- ・ 幼児教育アドバイザー派遣依頼施設数（出前研修・出前相談）が，前年比+21ヶ所の50ヶ所（園所97ヶ所 小学校49校 計146ヶ所（34.2%））に増えた。
- ・ 幼稚園，保育所（園），認定こども園の各代表に，幼児教育センター事業充実会議（実行委員会）の委員として参加いただくことで，事業に向けて基本的協力体制が図れ，派遣依頼件数・依頼施設数の増加につながった。（公立保育所18/18所 100%）
- ・ 幼児教育アドバイザー研修会（第1回）を公立幼稚園で開催するとともに，複数による園所訪問（年間9回）を通して，それぞれ専門性を有するアドバイザーが，互いの捉え方や見立て方などの情報交換を行うことで，個々のアドバイザーの見識の広がりや求められる役割について話し合うことができた。

### 4. 上記を含めた，平成29年度の実施計画

- ・ 幼児教育アドバイザー派遣事業（出前研修・出前相談）に係る派遣依頼件数の増大（派遣件数160件）
- ・ 幼児教育アドバイザーの複数派遣と継続派遣
- ◇公立幼稚園（3園）を対象に，幼児教育アドバイザーの担当園（1園に4～5名）を決定
- ◇継続（月1回程度を目安）及び複数による訪問を計画
- ・ 幼児教育充実指針『めぶく～幼児の育ち～ 子どもも大人も育ち合うために』を活用した研修会の実施
- ・ 「保幼小連携地区ブロック研修会」（18地区ブロック）
- ◇参加校園所  
市内幼稚園、保育所（園）、こども園、小学校、特別支援学校 計145校園所
- ◇テーマに『めぶく』のめぶき1～5を設定

めぶきの1「外で遊ぶ」，めぶきの2「友達とかかわる」，めぶきの3「自然に触れる」，めぶきの4「道具を使う」，めぶきの5「食べる」  
※ めぶきの1～5は，幼児期に体験させたい5つの項目

- ・ 「こども教育研修会」
- ◇対象 市内幼稚園、保育所（園）、こども園、小学校、特別支援学校の希望者
- ◇年間9回（① 5/26 ② 6/9 ③ 6/22 ④ 8/22 ⑤ 10/5  
⑥ 10/19 ⑦ 11/16 ⑧ 1/25 ⑨ 2/15）
- ◇幼児教育アドバイザーを講師として「めぶきの1～5」と関連づけた研修を計画